

第4学年○組 国語科 学習指導案

1 単元名 「お願いやお礼の手紙を書こう」

2 指導観

- 本単元に関しては、身の回りの人などにお願いやお礼の手紙を書く活動を通して、目的に合わせて書くことを選び、事柄を整理し、相手意識を持って敬体など丁寧な言葉で書くことができることをねらいとしている。本単元では、これらの上に立って、お願いの手紙とお礼の手紙を読み比べながら、手紙の基本的な形式をとらえ、実際にお礼の手紙を書いていくようにする。具体的な内容は、①お願いの手紙とお礼の手紙を読み比べ、手紙の基本的な形式をとらえること、②モデル文をもとにお礼の手紙の本文の形式をとらえること、③形式に気をつけ、敬体などの丁寧な言葉を使って、お礼の手紙を書くこと、④書いた手紙を読み返し、推敲することなどである。

○



- 本単元の指導にあたっては、社会科見学でお世話になった○○浄水場の方にお礼の手紙を書くことを通して、手紙の書き方を身に付けさせていきたい。まず、導入段階では、これまでに手紙を書いた経験について話し合い、社会科見学でお世話になった○○浄水場の方にお礼の手紙を書くことを伝え、目的意識を持たせる。次に、展開段階では、教科書のお願いの手紙とお礼の手紙を読み比べ、手紙の基本的な形式をとらえさせる。さらに、お礼の手紙のモデル文を読み比べ、お礼の手紙の本文の形式をとらえさせ、内容を考え、手紙を書かせたい。最後に、終末段階では、書いた手紙を推敲して、ペアやグループで読み合い、互いの良さに気付かせたい。

3 目標

- 手紙の基本的な形式を理解し、進んで手紙を書くことができる。
- 目的に応じて内容を考え、手紙の形式に合わせて文章を構成することができる。
- 相手意識を持ち、敬体などの丁寧な言葉を使って手紙を書くことができる。
- 書いた手紙を読み返し、間違いを正したり、よりよい表現に修正したりすることができる。

4 指導計画（6時間）

- 1(導入段階の活動)…手紙を書いた経験について話し合い、全文を読み、見通しを立てる。
1時間
- 2(展開段階の活動)…(1)お願いやお礼の手紙の書き方を知り、社会科見学でお世話になった○○浄水場の方に書くお礼の手紙の内容を考える。
2時間
(2)2つのモデル文を読み比べ、よさを見つける活動を通して、お礼の手紙の本文の形式を確認し、文章を書く。
1時間(本時)
- 3(終末段階の活動)…書いた手紙を推敲した後に清書し、ペアやグループで読み合い、お互いのよさを見つけ交流する。
2時間

5 日時



6 本時のねらい

- モデル文のよさからポイントを確認し、内容を整理して形式や敬体に気をつけて、お礼の手紙の本文を書くことができる。

7 準備

- 教師…学習プリント
児童…学習プリントセット、赤青鉛筆、洗濯ばさみ

8 予習

- 1 2つのモデル文のよさを考えながら、音読し、サイドラインを引く。
- 2 どちらのモデル文がよいかを考え、その理由を書く。

9 本時の展開

段階	学習活動と内容	教師の支援
導入	1 予習してきた内容を確認し、本時のめあてをつかむ。 ○ モデル文のよさを見つけて、それをもとにお礼の手紙の本文が書けるようになりたいという思いをもつこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて モデル文のよさを見つけて、お礼の手紙の本文を書こう。 </div>	○ 予習に取り組みさせることで、本時の見通しをもたせる。 ○ 流れ図を掲示することで、お願いやお礼の手紙の構成や相手意識などを想起できるようにする。 ○ ペア交流をすることで、自分の考えを深めたり、広げさせたりする。 ○ ペア交流では洗濯ばさみの色（モデル文A=赤、モデル文B=青、両方=赤、青）で自分の考えを明確にして交流できるようにする。 ○ モデル文は、内容が詳しく、お礼、学んだこと、考えたこと、お礼の順で形式が整ったものと、内容が不十分なものを準備し、比較させる。
展開	2 どちらのモデル文がよいかについて話し合い、モデル文のポイントを整理して、お礼の手紙の本文を書く。 (1) どちらのモデル文がよいか、また、その理由について話し合い、手紙に書く内容を整理する。 ○ モデル文のよさとその理由について話し合うこと ○ 本文を書く時のポイントを整理すること 【ポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございますの内容が詳しいこと ・形式が整っていること (お礼→学んだこと→考えたこと→お礼) ・丁寧な言葉を使って書いていること <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>〈モデル文B〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">○○ ○○ ○○ 様</p> <p style="text-align: center;">クリーンパーク○○</p> <p style="text-align: center;">平成○年○月○日</p> <p>○○ ○○</p> </div> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>〈モデル文A〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">○○ ○○ ○○ 様</p> <p style="text-align: center;">クリーンパーク○○</p> <p style="text-align: center;">平成○年○月○日</p> <p>○○ ○○</p> </div> </div> </div>	
終末	(2) ポイントに気をつけて、お礼の手紙の本文を書く。 ○ ポイント（内容の詳しさ、お礼→学んだこと→考えたこと→お礼という形式、丁寧な言葉）に気をつけてお礼の手紙の本文を書くこと 3 本時のまとめを考える。 ○ お礼の手紙の本文を書く時に大切なポイントを自分の言葉でまとめること <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> お礼の手紙の本文は、お礼、学んだこと、考えたこと、お礼の順で書くとくわしく書くことができる。 </div>	○ 学習ノートでは、前文や末文、後付けなどは書いておき、本文だけを書けばいいようにしておく。 ○ 文の形式で不安を感じている児童には、声をかけ個別指導をする。 ○ 本時の板書を参考にしながら、本時の学習で学んだことをまとめさせる。